



横浜世界キッズトライアスロン大会開催 エリート選手がキッズの健闘を称える

世界14の国と地域から、未来を担うキッズトライアスリートが参集

8月23日(日)、神奈川県横浜市の山下公園と山下埠頭をメインとした特設コースで、横浜世界キッズトライアスロン大会が開催された。

今大会は横浜開港150周年記念事業の一環として企画された、国際的に初めてのキッズの世界大会。国内外の6～15歳の小・中学生、および一部高校生(12月31日現在の年齢によるため)総勢257名が参加。海外からは中国、アメリカ、イギリスなど30の国と地域のキッズ選手が横浜に参集した。

午後1時にキッズ①(6～9歳:6.1km)、午後2時5分にキッズ②(10～15歳:11.15km)がスタート。当日午前に行われた世界選手権シリーズ横浜大会で、エリート選手のレースを見た子どもたちは、緊張と期待を抱きながら、歴史ある横浜の街を駆け抜けた。

また、21日(金)に開催された「世界こどもスポーツサミットin横浜」で「世界こどもスポーツ横浜宣言」を発表した代表キャプテンたちも出場し、レースを通じてフェアプレーの大切さや世界のこどもたちとの交流を学んだ。

レース後に行われた表彰式には、世界選手権に出場した井出樹里(トーシンパートナーズ・チームケッズ)、田山寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)ら7名のエリート選手がプレゼンターとして登場し、キッズ選手の健闘を称えた。



ウェーブごとに色分けされたキャップをかぶりスイムスタート



スイムからランジションへ



山下埠頭がキッズのバイクコース

JTU Official Partners & Official Suppliers



エリート選手からメダルを掛けられたキッズ選手たちは、笑顔で握手を交わし、今後の活躍を誓い合った。

各世代別の1位選手は以下の通り。

<6歳>

女子:大澤 奈々穂(神奈川県) / 21:25

<7歳>

女子:中川 未琴(愛知県) / 20:38

男子:梅澤 颯汀(神奈川県) / 21:39

<8歳>

女子:安松 青空(茨城県) / 17:28

男子:浜 魅人(神奈川県) / 19:08

<9歳>

女子:大松 花帆奈(愛媛県) / 17:47

男子:望月 満帆(山梨県) / 16:21

<10歳>

女子:酒井 美有(愛知県) / 28:15

男子:鶴田 耕基(東京都) / 28:41

<11歳>

女子:高橋 ひな(兵庫県) / 27:37

男子:吉田 秀平(大阪府) / 27:04

<12歳>

女子:中川 絵里奈(愛知県) / 28:25

男子:安松 青葉(茨城県) / 26:42

<13歳>

女子:加後 美咲(京都府) / 26:14

男子:谷口 跳馬(愛知県) / 24:33

<14歳>

女子:深沢 瑛里(神奈川県) / 26:11

男子:ツハイ・レオ・リー(香港) / 23:05

<15歳>

女子:ナオミ・ワイ(香港) / 26:23

男子:デヨン・リー(韓国) / 22:50

この大会の様子は、フォトギャラリーでもご覧いただけます。



家族や友達の声援を受けて走るキッズ選手たち



フィニッシュ前で激しい競り合い



エリート選手とともに喜びを分かち合った

JTU Official Partners & Official Suppliers

